

マスク買うより オンライン環境

第2波への備えは「不足を感じた」ところから

品薄状態に陥ったマスクやトイレットペーパー、自宅の食材ストック。来るかもしれない感染拡大第2波のために、いま備えておくべきものは何か。

6月下旬、東京都目黒区のスパーマーケットの店頭に、30枚入りの不織布マスクの箱が並んでいた。1箱1300円ほど。近所の40代の主婦は、「値段も安くなっていますけど、今買っておいた方がいいんですかね」と購入を悩んでいた。

緊急事態宣言が解除され約1カ月。新型コロナウイルスの感染拡大第2波に備え、医療体制の確保や、必要な人に迅速的確な支援を届けるか。この数カ月の経験から、検証しなければならぬことは多くある。一方で、一般市民はどんな備

えが必要だろうか。マスクに関心があるのは、冒頭の主婦だけではない。どこに行っても買えない品薄状態が長く続き、多くの人がマスクの在庫や販売状況に翻弄された。第2波が訪れば、また同じ状態に戻るのか。全国マスク工業会



入り口で検温や手指の消毒を行うなどの措置を取りながら、百貨店も営業を再開(写真上)。マスクも一時期に比べ格段に手に入りやすくなった

(東京)の担当者に聞いた。

「今年2月や3月のような品薄状態にはならないと思います」

年初、マスクは国内で約10億枚のストックがあったが、コロナの影響で需要が急増、一気に底をついた。その後、国内メーカーの参入が相次ぐなど、供給量は徐々に増やしているものの、各メーカーはストックを確保する状況ではなく、あればあるだけ出荷されているという。

「6月の国内の流通量は10億枚近くです。国内でも供給量が増えるので、7月にはさらに増えます。今買いためる必要はないでしょう。冬にかけて20億枚ほどいくのでは」(担当者)

ストックは生活防衛

緊急事態宣言前後に買いためや品薄が続いた食料やトイレットペーパーはどうか。マーケットインクに詳しい立教大の有馬賢治教授は言う。

「今後は心構えができてきているので、短期での買い占めは起こりにくいでしょう。ただ、学習効果が働き、各家庭で生活に必需だと感じるもののストックを増やす傾向は出てくると思います」

「買い占め」までいかずに、生活を守るためのストックを確保することは悪いことではない。

「災害時に備えるための備蓄を徐々にしていく感覚で、一定程度

度のストックを増やすことは、第2波だけではなく、生活防衛のために重要な備えになります。

巣ごもり生活で見えてきた生活必需品は家庭によって多様だと思えますので、不足を感じたものを備えておく必要はあります」

物資以外に大切な準備もある。コロナ禍で都市間の移動の自粛が求められ、身内に会えない経験をした人も多いはずだ。インターネットを使ったビデオ電話といった、高齢の親など遠くに住む人の状態を確認できる通信手段も、今のうちに整備しておきたいもののひとつだ。

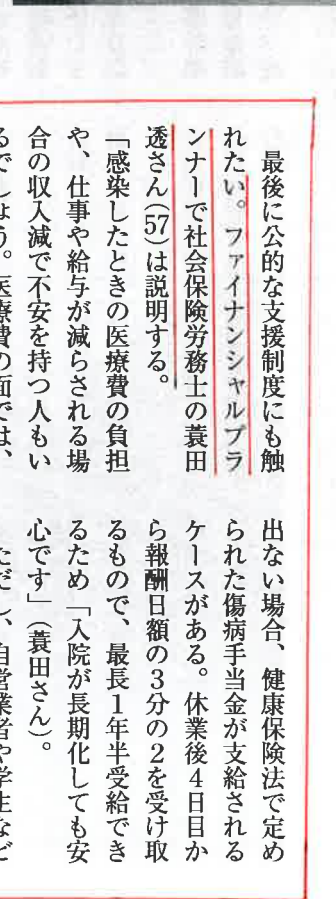
また、有馬教授は非常時に出まわるだろう「デマ」に対しても備えることを勧める。

「複数のルートで正しい情報を吟味する力が求められます。公式情報やツイッターでの医師の発信など、第2波が来る前に、ぜひ情報を評価する力を磨いておいてください」

エアコンや冷蔵庫も

再び巣ごもり生活が求められることになれば、家電製品も生活を支える重要なアイテムになる。コロナ禍で家電はどう影響を受けたのか。家電アドバイザーの鴻池賢三さん(50)はこう話す。

「在宅勤務の需要で、ノートパソコンは全体的に品薄でした」



オンライン会議に対応するため、外付けカメラやウェブカメラも品切れが相次ぎました」

顔に光を当て明るく見せる「女優ライト」もよく売れたという。大手通販サイト・アマゾン

をのぞけば、千円台のものからさまざまな製品が並ぶ。映画への関心は多くの人が共有するものだろう。

これからの需要はどうか。在宅ワークなどが続けば、今後、ニーズが急増するものがある。「エアコンです。購入も取り付けも販売店や設置業者なくして

は難しいので、暑さが厳しくなり注文が殺到すると、混乱が予想されます。必要な人は今のうちに手配するのが安心でしょう」(鴻池さん)

意外なところでは、冷蔵庫にも注意すべきという。食材を保管する必需の利器だが、夏場に壊れがちだからだ。感染が拡大し、再び買い物の回数に制限がかかる可能性を考えると、

「容量が大きいタイプに買い替えるのもよいと思います」(同)生活を守るためだけではなく、巣ごもり生活のストレスを解消

し充実させるためにも、家電はひと役買ってくれそう。家で過ごす時間が増えたことで、米大手Netflix(ネットフリックス)は1〜3月に世界全体の有料会員数を1570万人増やした。

国が休業手当を支給

「映画やドラマを大迫力で堪能できる高画質テレビや、自宅で映画館のような音響を実現するホームシアタースピーカーがあれば、家で過ごす時間が楽しくなるはず」(同)

最後に公的な支援制度にも触れたい。ファイナンシャルプランナーで社会保険労務士の養田透さん(57)は説明する。「感染したときの医療費の負担や、仕事や給与が減らされる場合の収入減で不安を持つ人もい

るでしょう。医療費の面では、現在新型コロナウイルスに感染した場合のPCR検査費や治療費について、全額公費負担とされているので自己負担はありません」

一方、収入減の面では、国の外出自粛要請による事業者の売り上げ減少や、企業の休業・時間短縮措置による労働者の収入ダウンが考えられる。事業者の場合で言えば、国の持続化給付金や都道府県の感染拡大防止協力金など、公的支援策を日ごろからウォッチしておきたい。

また、労働者が感染して仕事を休んでも会社から休業手当が出ない場合、健康保険法で定められた傷病手当金が支給されるケースがある。休業後4日目から報酬日額の3分の2を受け取るもので、最長1年半受給できるため「入院が長期化しても安心です」(養田さん)。

ただし、自営業者や学生など国民健康保険加入者の一部には適用されていない。さらに、7月には受け付けが始まる「新型コロナウイルス感染症対応休業支援金」にも養田さんは注目する。中小企業の働き手が、新型コロナウイルスの影響で休まされたのに休業手当をもらえない時に国から受け取れる。月33万円を上限に、休業前の賃金の8割を給付する方針だ。

状況はいつ変わるかわからない。物資も頭の体操も、できる備えはしておきたい。

編集部 小田健司

全ビジネスパーソン必読! ポストコロナの時代を大予測

コーポレート・トランスフォーメーション

日本の会社をつくり変える

和彦 (IGPI代表取締役CEO)

史のコロナ恐慌、日本企業が生き残るための唯一の方法とは? ポスト時代、会社のあり方は、働き方は、生き方は、こう変わる!



緊急出版!

ベストセラー 『コロナショック・サバイバル 日本経済復興計画』待望の続編!

●定価(本体1500円+税)

文藝春秋

〒102-8008 東京都千代田区紀尾井町3-23
http://www.bunshun.co.jp